

広島版「学びの变革」
アクション・プラン
「コンピテンシーの育成を
目指した主体的な学びの充実

第三次福山市教育振興基本計画
福山 100NEN 教育の推進
私たちの毎日が、未来になる

大門中学校区めざす児童・生徒

自分で考え判
断し、自分な
りに方法で表
現できる子

学校教育目標

自ら考え 共に輝く

学校経営理念（ミッション）

一人一人のよさを仲間と共に輝かそうとする子どもを育て、地域に誇れる学校を創る

自校の将来像（ビジョン）

- 授業を変えることにより、子どもを変える学校
- 学校・家庭・地域がつながり 子どもを育てる学校

自他を認め合
い、思いやりと
感謝の気持ち
をもった子

健康で安全な
生活をつくる
心身ともに健
やかな子

- ・児童同士が話し合い、主体的に課題を解決しようとする姿が見られるようになったが、学年を重ねるに沿って、基礎的基本的内容の定着に課題が出るようになった。
- ・児童が主体的に学びに向かう姿のイメージをもち、児童自ら「話し合いたい」と思える授業づくりをすることが必要である。

（研究主題）基礎基本の学力を定着させ、思考力・判断力・表現力を高める授業づくり
～「学び直し」と「振り返り」に重点をあてて～

（本校のめざす子ども像）21世紀型「スキル&倫理観」

- ・疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして、新たな課題を見つけている。（課題発見・解決力）
- ・生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えをもち、目的や意図に応じて、論理的に説明したり、適切な方法を選択したりして表現している。（思考力・判断力・表現力）
- ・集団の中で相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標をもち、自分から行動している。（主体性・積極性）
- ・相手を思いやることの大切さに気付き、相手の立場を尊重し、行動している。（共感力）

（めざす授業の姿）

- ・児童が「学びが楽しい」と思える授業
- ・児童が、「力がついた」と実感できる授業

〈研究の仮説〉

- ・「学び直し」と「振り返り」を充実させた指導過程を工夫すれば、児童が主体的に活動し、学びに新たな価値を見出し、自分の思いを表現する力が育つであろう。

音楽

- ・一人一人の児童が自己課題をもち、課題発見解決する題材構成の工夫
- ・児童の思考を深める教材・教具・ワークシートの工夫
- ・音楽表現をみがき合う場の工夫
→目的を明確にしたペア学習やグループ学習の設定
→フラッシュカード等の活用による共通事項の習得
- ・言語活動の充実
→音楽を根拠に、共通事項を使って自分の思いや意図・価値などを言葉で表す
- ・旭活タイム等を利用しての音楽活動

道徳

- ・児童が主体的に話し合い、練り合う中で、新たな道徳的価値を見出すことのできる授業展開の工夫
- ・道徳性の発達段階をおって児童が物事を多面的・多角的に考え、児童の道徳的思考を深める授業づくり
- ・道徳研究部会を中心とした学びづくり案の検討を通じた、研修体制の充実を図る。
- ・教材研究シートを活用し、ねらいや発問等が一本筋の通った授業になるようにする。

算数

- 【導入】
- ・児童自らが学びたいと思える「学び直し」による導入の工夫
- ・児童が自力解決していくことのできる課題の設定
- 【展開】
- ・目的や場面に合った自分の考えの交流形態の工夫
ペア・グループ・フリー・全体
- ・考えを共有するための手段としてタブレットを有効活用
- ・自分の考えたことを、様々な方法で、自分の言葉で伝える場の設定
- 【まとめ】
- ・適用題などの「学び直し」による学習の定着
- ・児童の「振り返り」による学習の見取り
- ◎児童自らが学ぼうとする授業展開の工夫や、話し合いの場のもち方などについて、教員同士による授業観察と意見交流をすることで、さらなる授業改善を図る。

研究の視点